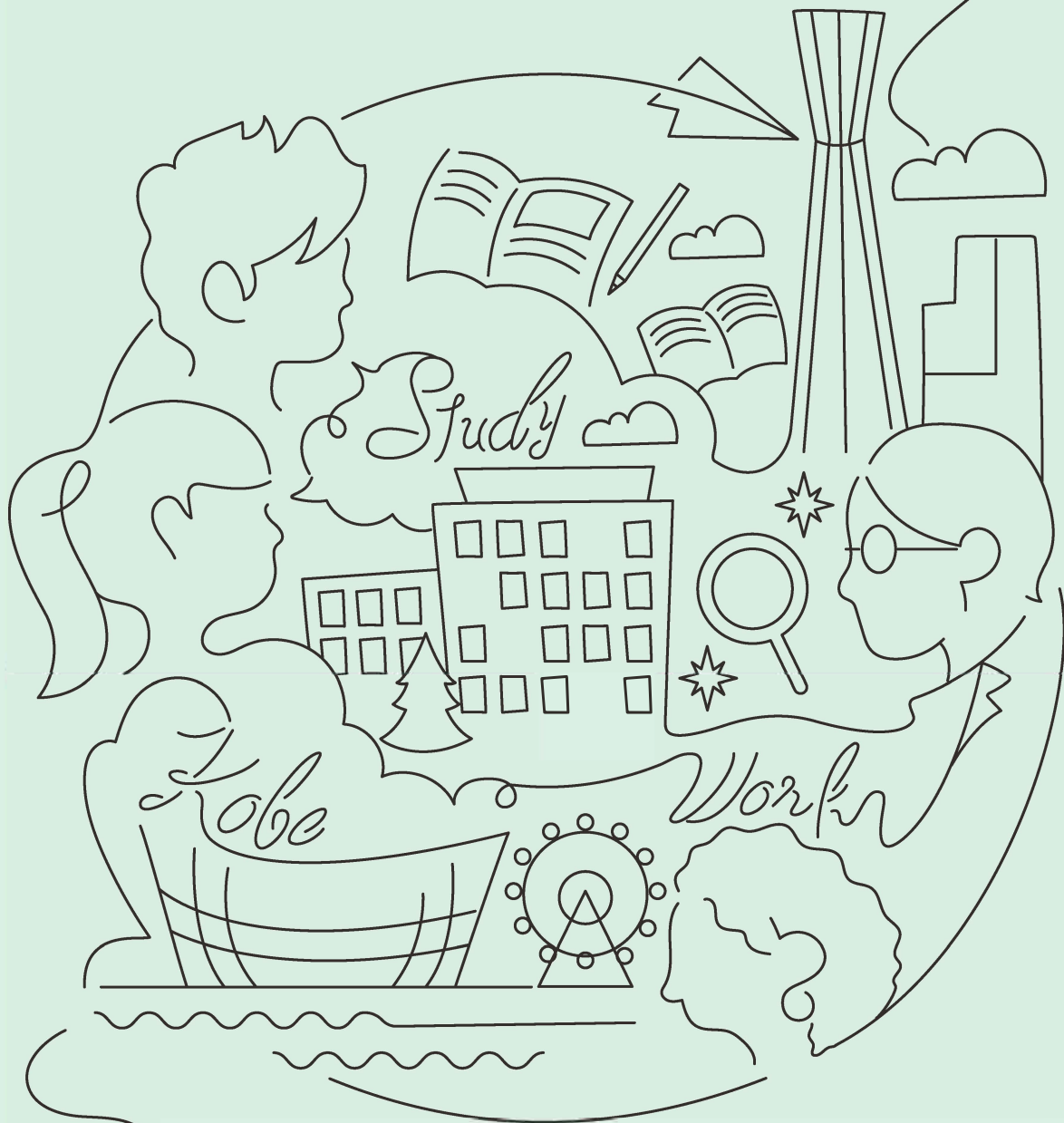


Yukari

神戸市外国語大学 卒業生紹介冊子



2022 April

02



Study



神戸市外大で「英語力」と「多様性を尊重する力」が身に付きました

Annual company meeting

毎年度末にP&G Japanの全社員が1つの会場に集まってcompany meetingが行われます。1年の振り返りやその年度で活躍されたチーム・個人に対する表彰式、またP&G Japanのleadership teamから次年度のgoalについて共有されます。2020年度はコロナで中止、2021年度はソーシャルディスタンスを保つために入社1,2年目の社員のみ会場参加、3年目以上はオンライン参加となりました。入社2年目の私は勤務地の異なる同期とも会い、全社員で会社のgoalを改めて理解できる貴重な機会となりました。



▲Annual company meetingでの1枚

お勤めになっている企業のことを教えてください

P & Gはアメリカで生まれた消費財メーカーで、現在は洗剤などの日用品だけでなく、電気シェーバーなどの家電も生産しています。「暮らしを感じる、変えていく」ことを目指すため、高品質な製品作りと優れた人材育成に力を入れています。また、ジェルボールのような社会の需要に合わせた製品を生み出し、会社の価値だけでなく消費財マーケットの価値を高めることで、会社と社会双方の発展を実現しております。70カ国で生産拠点やオフィスを持ち、180カ国の合計50億人の方々の生活を支える仕事をしています。

入社後、どのような仕事に携わりましたか？

1年目から2年目の12月までは、パンパースとウイスキーという製品のパッケージの調達先管理をしていました。主な仕事は①パッケージの品質改善のために社内生産部隊と調達先の調整をすること、②新しいパッケージ導入の企画・検証を行うことです。2年目の1月からは、パンパースの新製品プロジェクトのリーダーとして、リソースの確保からスケジューリングと、社内の各部署の方を動かすまとめる仕事をしています。

これらの主な「生産統括部」としての仕事と並行して、2年目の10月から生産統括部のリクルーティングチームの一員として、リクルーティングイベントのリーダーもしています。

現在の仕事内容について詳しく教えてください

「パッケージの品質改善」に関しては、起きている問題について国内外の調達先と協議し、解決に導くことで社内と社外をつなぐ役割をし、社外とのコミュニケーションスキルを学ぶ機会となりました。また、社内での品質や生産効率への影響をPowerBIやPythonというツールを用いてデータ化するなど、デジタルスキルを身に付けながら分析も行っています。「新しいパッケージの導入企画・検証」に関しては、どのようにパッケージでビジネスに貢献できるかを考え、企画から検証、導入するまでの一連のプロジェクトのリーダーを担い、プロジェクトマネジメントスキルを学びました。今まで行ったプロジェクトはさまざまで、SDGsの観点からプラスチックのパッケージを薄くできないかや、梱包形態を変えることで配送コストの削減ができないか等を企画し、導入しました。

神戸市外国語大学を選択した理由は？

どんな人になりたいかを考えた時、国を超えて多種多様な価値観を持つ人たちとコミュニケーションが取れるような人になりたいと思ったからです。神戸市外大は、留学や、日本で異文化交流を行っている学生が多いです。そんな友達から刺激を受けられ、外国語をツールとして多種多様なことを学べるので、留学中・在学中問わず価値観を広げられる大学です。

大学生活を振り返り思い出になっていることは？

一番は10カ月間のイギリス派遣留学です。自分のことを誰も知らない環境で、言語だけではなく人として成長し、人生で一番自分「なりたいたい自分」に向かって努力した時間だったからです。もちろん、自分の伝えたいことが伝えられない歯がゆさや悔しさもありましたが、それ以上に新しい言語や環境文化価値観に触れることで、自分が「どうなりたいか」「何に興味があるのか」を深く考えられる、かけがえない時間になりました。この経験から、世界のどこに行っても安心して使える製品に関わりたいたいと思い、今の会社を志望しました。



▲留学先ダンス部の杉本さん(中央上段)

学生生活で今の仕事に結びついていることは？

主に3つあります。1つ目はプレゼンテーション能力です。大学では、スピーチとプレゼンテーションの基礎が学べる「スピーチコ

今後の夢や目標などを教えてください

今後の目標は、大きなチームを動かす力身に付けることです。新製品導入プロジェクトのチームは、各部署のエキスパートが集まって構成されています。そこで私よりも経験豊富な方々に対して、説明の仕方や内容を工夫し、全員が納得して同じゴールに向かって進めていけるようなリーダーシップを身に付けていきたいと思っています。

コミュニケーション「に所属しており、人を引き付ける話し方やプレゼン方法を研究／実践してきました。そのおかげで、入社直後の上層部へのプレゼンでは、伝え方を称賛していたことができました。2つ目は英語力です。現在仕事の中の半分は英語を使用しており、初配属が海外の調達先とやり取りをする部署だったことから、英語でディスカッションする能力が必要でした。神戸市外大で培った英語力のおかげで、海外の調達先とのコミュニケーションが円滑にできたと思っています。3つ目は多様性を尊重する力です。外大生はおそらく異文化に触れる機会が多いことから、異なる意見を否定せず、それは「個性で良いことだ」という考えを持っている方が多いと思います。それにより、バックグラウンドや年齢も異なる方とのコミュニケーションが入社直後も円滑にでき、先輩からのインプットを素直に吸収することにつながったと思っています。

大学の授業や留学の経験は、
現在の海外営業に
活かされています



火星で発電所建設!?

2015年半ばから約1年間、オーストラリアの西オーストラリア州にあるSouth Hedlandという地域でのガス火力発電所建設プロジェクトに派遣されていた当時の写真です。周囲は赤土の大地が広がり、気温は40℃を超え、娯楽といえばスーパーでの買い物くらいという過酷な環境での生活でしたが、現地の陽気なスタッフに囲まれ、楽しく刺激的な日々を送ることができました。当時見て感じたことや得た技術的知識は、現在も営業としてお客さまとやり取りする場面や、社内の設計部隊と協議する際に活かされています。



▲オーストラリアの建設現場での1枚

Study

お勤めになっっている企業の
ことを教えてください

株式会社IHIは、ペリーが浦賀に來航した嘉永6年(1853年)に、欧米列強に對抗するため、水戸藩が江戸幕府の命を受け石川島造船所を創設したのが始まりで、今年で創業169年を迎えます。現在は「資源・エネルギー・環境」「社会基盤・海洋」「産業システム・汎用機械」「航空・宇宙・防衛」の4つの事業分野を中心に価値を提供する総合重工業グループとなり、連結売上高約1兆1千億円のグローバル企業へ成長しました。いわゆるB to Bを主とした会社なので、あまり学生の皆さまには馴染みのない名前かもしれませんが、実は明石海峡大橋、東京スカイツリー、民間航空機のジェットエンジンなど、皆さまの生活に欠かせないインフラの製造に携わっている会社です。

入社後、どのような
仕事に携わりましたか?

2014年にIHIに入社し、航空機転用型ガスタービンを用いた発電設備を取り扱う陸用原動機事業部の海外営業部へ配属となりました。最初の1年は米国向け整備営業を担当、2年目からはジョブローテーションの一環でタイの建設現場に半年、オーストラリアの建設現場に1年間事務管理役として派遣されました。

帰国後は海外営業部へ戻り、東南アジア向け新規プロジェクトおよび整備営業として、タイ・インドネシア・ミャンマー・マレーシア・パ

ングラデシユ等のプロジェクトを担当してきました。

また、2019年度に私がいたIHIの陸用原動機事業と株式会社ディーゼルユナイテッド、新潟原動機株式会社が発立されたことに伴い、現在は私もIHIからの出向という形でIHI原動機に所属しています。

現在の仕事内容について
詳しく教えてください

先述のとおり、私が所属する事業部は航空機転用型ガスタービンを用いた発電設備を用いた事業を行っています。

行ってきた業務としては大きく「新規プロジェクト」と「アフターサービス」に分かれ、新規プロジェクトではガス火力発電所のプロジェクト組成から最後の代金回収までを一貫して担当するものになります。この中にはODA、円借款などと呼ばれるような、途上国向けの政府融資案件も含まれており、途上国の発展の一旦を担うことができるという点でやりがいのある業務だと感じています。

もう一方のアフターサービスについては、これが文字通り納入後のメンテナンスを提案するものとなります。IHIが取り扱っているガスタービンは世界で1,000台以上納入されているベストセラー機種であり、その中でも米州は特に多くの台数が納入されています。私は2021年半ばよりこの米州向けのメンテナンス営業を担当しており、2022年度よりニューヨークの米国統括会社へ駐在する予定となっています。

神戸市外国語大学を
選択した理由は?

中学・高校時代から英語が好きで、大学では英語を使って経済や政治を学びたい、また留学をして自分の視野を広げたいと思っていました。関西には外国語に力を入れている私大も多くありますが、それらの大学と違って神戸市外大は良い意味で素朴な印象をオーストラリアで受け、ここなら勉強にも集中して取り組めると感じたことがきっかけだったように思います。

大学生活を振り返り
思い出になっていることは?

私の大学生活はほぼ部活動と留学で占められていたように思います。私は体育会フィールドホッケー部に所属しており、未経験者集団でどうやってリーグ昇格できるか、毎日部員と悪戦苦闘しながら取り組んでいました。大学2・3年生の時は2部

学生生活で今の仕事に
結びついていることは?

大学の授業で受けた「国際経済」「国際政治」「英語」の授業、また1年間の留学は異文化理解・コミュニケーションという点で、現在の海外営業の業務にかなり活かされていると感じています。

また部活動で学んだ組織運営・先輩や後輩との関係性の構築についても、社会人でも通ずる面が多くあることから、大学で頑張った良かったなと思っています。

今後の夢や目標など
教えてください

世界中がコスト至上主義となりつつある中で、私が営業担当だからIHIに発注したんだよとお客さまに言っていただけのような営業マンになることが直近の目標です。長期的な目標としては、これからのカーボンニュートラルの時流に取り残されることなく、新たなアイデア事業を創出し、社会の発展に貢献することです。



▲フィールドホッケー部の溝ノ上さん

神戸市外国語大学の就職状況

現代社会では、多くの企業や団体が高い語学力や豊富な国際知識を必要としています。
神戸市外国語大学の卒業生は、鍛えられた語学力と習得した知識、
留学や国際交流などの経験を活かし、「行動する国際人」として社会で活躍しています。



コロナ禍、求人が厳しい状況下でも
量・質ともに高い就職実績を獲得

その他、
就職企業は
こちら



主な就職先(2021年3月卒業生実績)

重工・機械：IHI、クボタ、ジェイテクト、スズキ、トヨタ自動車、日立製作所、富士電機 等
化学：関西ペイント、日本ペイント 等
電機・電子：沖電気工業、日本電産、古野電気、堀場製作所、村田製作所、三菱電機 等
食品：カゴメ、ヤクルト本社 等
素材：日本精工、住友金属鉱山 等
スポーツ用品：ナイキ・ジャパン、ミズノ 等
商社：岩谷産業、岡谷鋼機、日鉄物産 等
流通：ニトリ、ファーストリテイリング 等
貿易：富士貿易 等

情報・通信：日本アイ・ピー・エム、NTT 西日本、バンダイナムコエンターテインメント、楽天、ソニーミュージックエンターテインメント 等
報道・出版：日本放送協会(NHK/記者職、アナウンサー職) 等
都市銀行：りそな銀行 等
保険・証券：SMBC日興証券、大同生命保険 等
運輸・倉庫：日本貨物航空、西日本鉄道国際物流本部、三井倉庫ホールディングス 等
サービス：電通、ベネッセコーポレーション、アクセンチュア 等
旅行：日本旅行、阪急交通社 等

国家公務員：外務省専門職(英語、スロバキア語)、防衛省専門職(高官通訳)、航空自衛隊幹部候補生(パイロット)、航空管制官、出入国在留管理局 等
地方公務員：大阪府庁、香川県庁、県警通訳職 等
教職：長野県教育委員会、鹿児島県教育委員会 等
その他団体：国際協力機構(JICA)、中小企業基盤整備機構 等
大学院進学：神戸市外国語大学大学院、東京外国語大学大学院、京都大学大学院、ロンドン大学大学院、オックスフォードブルックス大学院 等

地元企業での主な就職先

重工・鉄鋼・機械：川崎重工業、神戸製鋼所、トーカロ、ノーリツ 等
化学：住友ゴム工業、バンドー化学、三ツ星ベルト 等
電気・電子：TOA、デンソーテン 等
医薬品・医療関連：シスメックス、P&Gジャパン 等
食品：UCC上島珈琲 等

スポーツ用品：アシックス 等
商社：合食、神栄、神明、富永貿易 等
ホテル・旅館：神戸ポートピアホテル、中の坊 等
運輸・倉庫：大森廻漕店、上組、川西倉庫、後藤回漕店 等
IT関連：コベルシステム、さくらケーシング 等

地方銀行：みなど銀行 等
報道：神戸新聞社
公務員：神戸税関 等
地方公務員：神戸市役所、兵庫県庁 等
教職：神戸市教育委員会、国立大学法人神戸大学、兵庫県教育委員会 等
生活協同組合：コープこうべ 等

種別毎五十音順

就職状況

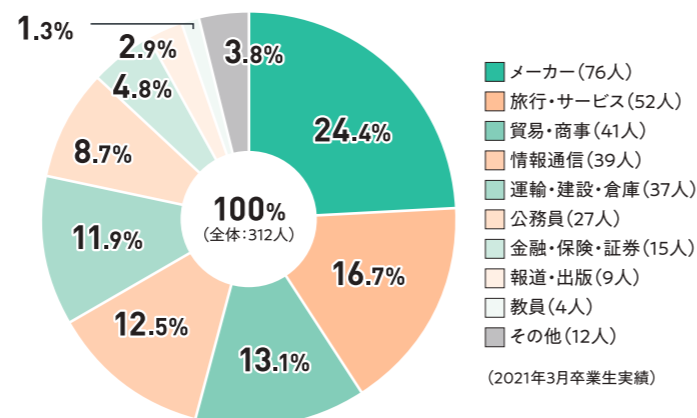
就職者率

96.6%

就職希望者数	就職者数	就職者の内訳			就職者率
		民間	公務員	教員	
323	312	281	27	4	96.6%

(2021年3月卒業生実績)

就職業種



Kobe

学生の国際的な活動を支援し、
グローバルな人材を育てる。

神戸グローバル教育センター

国内のみならず国際的に活躍する学生が多く在籍する神戸市外国語大学。本学では、海外で活躍できる人材の育成に取り組む「神戸グローバル教育センター」を2021年4月に設置しました。

「神戸グローバル教育センター」は学内外での学びを繋ぐことを目的とし、既存の枠から「はみ出す」学生たちのチャレンジをサポートしています。

代表的な活動としては、世界中の学生が自国以外の外交官役として国際問題や外交関係に取組み国際的な感覚を養う教育活動である「模擬国連」や全国の大学生が英語で行うプレゼンテーションコンテスト「MCJ(Marketing Competition Japan)」をはじめとした活動をサポートしています。



神戸グローバル教育センター/センター長

山口 治彦 (やまぐち はるひこ)

大阪市立大学大学院文学研究科後期博士課程単位取得退学。2006年から神戸市外国語大学英米学科教授。

神戸グローバル教育センターでの主な取り組み

模擬国連

Host校の学生は会議運営にボランティアとして参加することが可能で、本学学生が国際会議を体験できる機会になっています。

模擬国連とは、世界中の学生が自国以外の外交官役として国際問題や外交関係に正面から取組み国際感覚を深める教育活動で、全て英語を用いて行われます。

意欲のある学生が世界から集い、高い成果を目標としており、国際感覚を磨くには絶好の舞台となっています。

春はニューヨークの国連会議場で、秋は世界各地の大学をHost校として開催され、2016年11月に日本初の模擬国連世界大会を神戸で開催し、本学がHost校を務めました。

2022年11月には再び本学がHost校として神戸で世界大会を開催予定です。

MCJ (Marketing Competition Japan)

MCJは、本学の学生を中心とする運営委員会が企画・運営する大会で、2011年から始まりました。参加企業等からテーマ提供を受け、そのテーマに対する具体的なマーケティングプランを全国から参加する大学生チームが英語で発表し競い合う行事です。大会への参加を通じて、学生の企画力、課題解決力、発信力、英語表現力などの向上を図り、地域の企業等の振興にも貢献することを目指しています。

はみ出していい。既成概念の殻を破ろう



「HaMiDaSu」とは、日本語「はみだす」の「既存の枠や決められたイメージに収まりきらない」という意味。神戸市外国語大学は「自分の殻」や「学問の枠」を超えて新しい世界に飛び込んでいく、エネルギーに満ちた学生を応援します。



◀「HaMiDaSu」
学生・卒業生の活躍は
こちらからご覧いただけます



公立大学法人

神戸市外国語大学